



消防団広報



出初式で表彰されました

全国消防操法大会

桑名方面団 第五分団

十月十九日

富山県広域消防防災センターにて全国消防操法大会が行われ、三重県代表として出場しました。

「朝から秋晴れ、大会日和。が一転 午後一時を回る頃、雷が鳴りだし風が吹き始め、ポツリ、ポツリと雨。」

大会ポンプ車部門、出場最終チーム、桑名市消防団の操法競技が始まるその頃は、強風と相まって、横殴りの雨。そして雷、とまさに最悪な天候！その状況でも選手は、集中し、堂々と最高の操法を見せることが出来ました。競技を終えた後も満足げに、胸を張って退場したのが、印象的でした。

結果は、二十三チーム中十三位。私たちチームとしては、賞こそもらえませんでした。が、会場に感動を置いてきたと自負しております。そんな中であって、一番員 市原誠さんが、個人賞を受賞する事が出来たことも誇りに思います。

三重県操法大会、全国操法大会出場を通じて、団員が一回り大きく、頼もしくなったようです。

今後、団員一同は、この間の訓練で培った技術、精神で、より一層地域に貢献出来る様消防活動に努めてまいります。

出場選手

指揮者 廣瀬 大三

一番員 市原 誠

二番員 水谷 浩介

三番員 加藤 裕明

四番員 中川 恭行

吸管補助員 福田 健人

補欠 中西 貴大

- 2ページ 出初式・年末警戒
- 3ページ 大隊訓練
- 4ページ 自主防災訓練・方面団訓練
- 5ページ 特集:ラッパのついた鉄塔
- 6ページ 女性消防団

第四十号 二〇十九年 三月
編集・発行

桑名市大字江場七番地

桑名市消防団 企画情報部会

出初式

一月十三日

国営木曽三川公園輪中ドームにおいて、消防団、消防本部、自衛消防隊、総勢五百六十九名による出初式が挙行されました。

下、徒歩部隊と子供を乗せた車両部隊による分列行進が実施されたほか、永年の功労者に対し表彰状授与・市長告辞・来賓祝辞を頂き、消防団長答辞にて式典は閉式となりました。

終了後は長良川河川敷において、消防車二十七台による一斉放水が実施されました。



年末警戒

十二月二十八日～三十日
期間中は夜八時から十二時まで警戒に当たり、消防車両で防犯・防火の呼びかけをしながら巡回を行いました。

二十八日には、伊藤市長による巡視があり激励と感謝の言葉を頂きました。



内装工事・カーテン・壁紙・床材・水廻り・リフォーム

信頼と実績
地元密着
見積無料

有限会社 **オガワ**
内装の

詳しくはホームページ

内装のオガワ

検索

坂井橋を渡って、イオン東員方面です。

桑名市島田1100-1



0120-88-2303

星川駅 徒歩15分

大隊訓練

第二大隊

七月一日

桑名方面団の八・九・十・十二・十四分団の合同訓練が消防本部二階 コミュニティセンターで開催されました。今回の訓練は、自主防災訓練指導時、および非常時における消防団員の資質向上に寄与できるよう普通救命講習を受講しました。

「応急手当の基礎知識」として、怪我や病気の中で最も重篤で緊急を要するのは心臓や呼吸が止まってしまった場合です。人の命を救うには1分1秒を争う応急手当が必要です。また救命のリレーとして「119番通報」「応急手当」「高度な救命処置（救急車）」「高度な救命医療（病院）」とうまく繋げて命を救うことが大事です。

その基礎知識を学んだ後、応急手当指導員が実技指導を行いました。最初は「119番通報」と「心肺蘇生法」に絞って実習を行い、続いてAEDを使った電気ショック処置の方法を学びました。

三時間の講習を終え、三年間有効の「普通救命修了証」を受領しました。

今回、学んだことを緊急時に活かすとともに、受け持ち地区の自主防災訓練時に活用できるように各分団で日々研鑽に努めていきます。



第三大隊

十一月四日

桑名方面団の一・三・五・十二分団の合同訓練を、長島総合自動車学校教習コース・教習室を利用して頂き実施しました。

訓練は、緊急走行時及び一般走行時における交通法令、運転技術、車輛誘導方法の向上を図り、安全確実な現場活動に繋げることを目的として行いました。

教習コース走行訓練では、スタート前に日常点検手順で

車輛点検を行い、コース内では交差点の通過・S字・クラック・方向変換・縦列駐車・坂道発進等、免許取得時以来のコース訓練となる団員が殆どでしたが、各コース走行時点の留意事項を守り、赤色棒での合図、車輛を誘導する際の誘導位置、誘導方法等の再確認が出来ました。

教習室では、消防本部消防救急課による、緊急走行の再確認、緊急自動車安全運行の意義、緊急自動車運行の心構え等の安全講話をして頂きました。

今回の訓練で、機関員、乗車団員全員で安全確認を行うこととの大切さを再認識することが出来ました。



第一大隊

十一月四日

桑名方面団の二・四・六・七・十一分団の合同訓練が、西分署にて行われ、昨年度同様実践的な消火活動を目的とした放水訓練を実施しました。時折雨模様の中、65ミリのホース二本を延長し、双口金具を使用、50ミリのホースを二線延長、第一標的第二標的と順番に標的に向け放水を行いました。そして、今回は新入団員や慣れない団員にそれぞれ指導しながら参加者全員で同様の訓練を各分団が二回ずつ行いました。



各種イベント 式典 販売促進 会議・研修会

企画・設営・運営・機材のレンタル

**RENT ALL**

桑名市大仲新田541-3 0594-32-2077

街とビジネスをレンタルサポート

レントオール桑名

詳しくは

レントオール桑名

検索

自主防災訓練

市内各小学校地区にて三年一度、自治会・消防団・市防災危機管理課の協力のもと行われています。今年も九ヶ所で行われました。

長島北部地区

十月二十八日
長島北部小学校に於いて、北部地区自治会連合会の主催で、自主防災訓練が実施されました。

訓練には、地域の代表・百五十名と消防団・北部婦人会・桑名市防災危機管理課・長島地区市民センターが参加し、災害発生時の避難所への移動経路の確認と、防災活動において円滑で適切な対応が図れるよう、関係機関相互の協力体制を確立する目的で行われました。

前半は参加者を三班に分け、班単位のローテーションで、応急救護訓練・傷病者搬送訓練・煙体験・屋上避難訓練を、それぞれ体験して貰いました。後半は、体育館に於いて桑名市防災指導員の方から、近年発生した震災・風水害の映

像を交えた説明と、今後想定される災害に対する備えについて、講話をして頂きました。今回、消防団の役割として、消防車での避難の呼びかけや女性消防団と共に応急救護方法と傷病者搬送方法の説明、並びに屋上避難や煙体験ハウスへの誘導を行いました。



長島方面団

秋季訓練

十一月十一日
長島防災コミュニティセンターにおいて、秋季訓練を行いました。

今回は、消防ポンプの取り扱いをより深く学ぶためにポンプ取扱業者の方に来てい

いただきました。山口商会（シバウラ）・三重保安（トーハツ）・モリタ東海（モリタ）の三社です。

前半は、各分団に配備されているポンプメーカーごとに別れて説明を聞きました。基本の操作を再確認し、故障の原因になりそうな事や調子が悪い場合に自分たちで調べる箇所などを教わりました。

後半は、各分団で放水訓練を行いました。防火水槽（無圧水利）・採水口（有圧水利）からの放水を行い、操作方法の違いを学びました。

今回の訓練で学んだ事を団員全員で共有してこれからの活動に活かしていきたいと思っています。



多度方面団

秋季競練会・防火パレード

十一月十一日

今年も、日頃の訓練の成果を確かめるため、秋季競練会が多度すこやかセンターの駐車場にて行われました。

五つの分団から選ばれた十八チームが火災現場を想定した、消防ポンプ車による消火活動の速さと正確な器具操作を競い合いました。

審査結果は以下の通りです。
一位 五分団一班（香取）
二位 一分団一班（多度）
三位 一分団五班（戸津）



課題の残るチームもありましたが、競練会を通して多度方面団全体の消防技術の向上を図る事ができました。

また、終了後には、火災防止の呼びかけをするため各分団車両で多度町内を行進する防火パレードが行われました。





◆◆◆◆ 特集：ラッパのついた鉄塔 ◆◆◆◆

最近、学校や公園の隅に、ラッパの形のスピーカーがついた鉄塔をよく見かけます。チャイムが鳴ったり、アナウンスが流れたりしていますが・・・



市役所の担当者に聞いてみました



わからなければ聞いてみよう！

市役所の防災・危機管理課で聞いてきました。

■あのスピーカーは何ですか？

桑名市で設置したもので「同報系防災行政無線」と言います。

■難しい名前ですね(^_^;)「同報系」ってどういうことですか？



住民の皆さんに情報を一斉にお知らせできるのです。

「移動系防災行政無線」もあります。既に学校や市民センター・消防団車庫など各種行政機関に設置されています。情報の一斉伝達もできますが、電話やトランシーバーのような通信手段としても使われています。

■どこにあるのですか？

平成28～29年に、旧桑名市地区に53カ所設置しました。今回は、津波などで浸水する可能性が高い地域に設置しています。今後も増やしていく予定です。

■多度・長島地区には以前からありますね？

多度・長島地区には合併前から防災無線が設置されているのですが、旧型のアナログ式なので、新型のデジタル式に順次取り換え中です。



■どういう時に鳴らすのですか？

災害情報やJアラート等の緊急情報と、防災訓練の告知にも使用しています。



旧桑名市地区では、毎日午後5時にチャイムを鳴らしています。

あまり知られていませんが、訓練以外の地域イベントの告知にも使っていただけるんですよ。

鉄塔の下にあるボックスを開くとマイクが設置されているので、そのスピーカーだけから、運動会やお祭りなどのお知らせを流せるのです。

■室内にいる時には良く聞こえませんか？

防災無線は、あくまでも情報をお伝えするための一つの手段です。

広報車で巡回したり、ホームページやメールも活用しています。

メールには、登録不要の「エリアメール」もあるのですが、文字数が少なく、必要な情報が伝えきれません。携帯電話・スマホをお持ちの方は

「桑名市災害時緊急メール」をぜひ登録しましょう！

QRコードを読み取るか、t-kuwana@sg-m.jpへ空メールを送信して登録して下さい。



情報をみんなで共有しましょう



このように行政からは色々な方法で防災情報が提供されています。

しかし、耳がきこえにくい人など情報を入手しづらい方も少なくありません。

自分が受け取った情報を、周りの方に伝えて共有する事も重要です。



取材協力：桑名市役所 防災・危機管理課 参考資料：総務省ホームページ、桑名市ホームページ他 文責：企画情報部 内藤誠一郎

歩み寄る 感謝の気持ち ありがとう

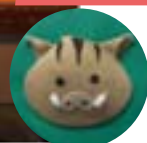
女性消防団の活動はブログでもご覧いただけます。

桑名市女性消防団

検索 ←クリック！



女性消防団



第24回 全国女性消防団員活性化滋賀大会

母なる湖、琵琶湖へようこそ 近江の国から発信

平成30年11月9日

滋賀県大津市で

開催された

全国大会に

参加しました



大津のゆるキャラ
おおつ光ルくと記念撮影



展示コーナーは
今回も好評でした



消防団と地域の
関わりについて
事例発表させて
いただきました

20年表彰

後藤昌子 分団長



平成10年の女性消防団結成時に入団し20年が経ちました。

「応急手当指導員」や「三重さきもり」など、いざという時に地域のために役立つ知識や技術を身につけることが出来、話すこと・みんなを楽しくすることが大好きなキャラを生かして活動しています。

災害時にも「女性消防団がいてくれたから安心できた」と言ってもらえるように「女性の力」を生かしていける仲間をもっと増やしていきたいです。

2019年春

出初式で表彰を受けました

10年表彰

内藤幸子 団員



消防隊員の、救命活動での迅速で規律のとれた行動に感動し、女性消防団員として消防の一員になり10年が経ちました。防災訓練で住民の皆さんから感謝の言葉をいただき、信頼されていることを実感すると、入団して良かったと思います。これからも大切な人たちが笑顔で毎日を過ごせるようにがんばっていきます。

20年表彰

木村隆子 副分団長



女性消防団に入団して20年、長いようで短かったですね。全国大会で桑名市をアピールする機会をいただくなどして、右も左もわからなかった自分もこの20年で成長できたのではないかと思います。これからは、地元の人たちに女性消防団の存在をもっと広める活動にも力を入れていきたいです。

地域のために女性の優しさ・細やかさを活かして、一緒に活動しましょう！ 団員を募集しています。

くわしくは→ 桑名市消防本部 総務課 TEL24-5274

